



全町連だより

第15号

町内会加入率調査 (R元年11月末)

人口・・・23,361人 加入世帯数・・・4,653世帯
世帯・・・11,269世帯 町内会加入率・・・41.29%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ(生活環境)にてカラー版を開覧・ダウンロードできます(<http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>)

●町内会についてのお問い合わせ
中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111 (内線220)



2020年の新春を迎えて

中標津町全町内会連合会

会長 佐々木 俊 三



令和の新春を穏やかな内に迎えられる事にお慶び申し上げます。昨年秋口の台風による自然災害により本州各地で被災された方に心よりお見舞い申し上げます。この災害の発生を見て、事前に気象悪化情報や流れ警報等が発令されたにも関わらず多くの人命が失われた事に、自然災害の脅威を皆様も強く感じられたのではないのでしょうか。

全町内会も災害は必ず来ると捉え対策を重点課題とし防災訓練研修会等を開催、また行政の防災担当の下、自助共助公助のあり方について協議を進めております。災害は明日にも来るかわかりません。今地域で安心安全で幸せな生活を子供に孫に伝えるのは私達の責任ではないのでしょうか。根室地方に超巨大地震災害(マグニチュード8.8以上)が発生する確率は30年以内に最大40%とも言われております。一人では災害には向かえません。家族の幸せを守る為に自助を基本として共助公助についても各町内会活動の中で連携の取れた行動を考える事が大事だと思えます。

これからも住みよいまちづくりの努力致しますが、地域皆様の町内会加入参加とご協力がなくては安心安全は守れません。引き続きご協力とご理解を頂けます様お願い申し上げます。

あいさつ、
みまもり、
たすけあい

子どもの安全の
みまもり、
こころがけて
いきましよう

令和元年度・全町内会長会議開催される

十月十九日(火)十時から、役場三〇二号会議室において、中標津町全町内会連合会町内会長会議が行われ町内会長等二八名が参加しました。

会議は、連続した台風による災害への関心の高さもあり「中標津町における防災対策について」というテーマで、役場総務課防災主幹・徳永博之氏・防災主査・合田茂氏を講師に講話をいただきました。

特に防災対策上重要なポイントとして「知る」と・想像する事・事前に備える事・繰り返し訓練する事」が話されました。

また、内陸にある中標津としては、「標津断層帯」による地震が懸念され、その三十年以内の発生確率が不明である事。

従来のハザードマップの見直しが見直しがされていく事。
「fmは」の緊急放送が、受



コミュニティFMラジオ

- ・FMはなによる災害放送
- ・FMはなへの緊急割込放送
FMなかしべつ放送機と町との緊急災害事象等における災害放送に関する協定により、緊急時には役場から割込放送を行うことができる。
- ・全国瞬時警報システム(Jアラート)を受信した場合に自動でFMはなへ緊急割込放送が行われる。
緊急告知FMラジオ(車載・携帯)
※ラジオが停電状態にあっても自動起動させ緊急情報を放送



信されるよう町内会長に、ラジオが配布される事。
家族同然のペットの災害対応については、給餌・避難所までの移動・避難所での生活を送る事など「飼い主」の事前の対策が必要である事が強調されました。
会議はその後、道東ブルック大会分科会に参加した三氏からの報告。令和二年新年交流会は、一月二二日(水)十一時から場所・寿宴の報告で終了しました。

